

会 議 録

会議の名称	令和7年度第4回小金井市食育推進会議
事務局	福祉保健部健康課健康係
開催日時	令和8年3月10日（水）午後2時
開催場所	保健センター1階大会議室
出席者	別紙のとおり
傍聴の可否	<input checked="" type="radio"/> 可 ・ 一部不可 ・ 不可
傍聴者数	0人
傍聴不可等の理由等	
会議次第	
会議結果	別紙のとおり
発言内容・ 発言者名（主な発言要旨）	別紙のとおり
提出資料	
その他	

令和7年度第4回小金井市食育推進会議 会議録

日 時 令和8年3月10日(火) 午後2時00分～午後2時49分

場 所 小金井市保健センター1階 大会議室

出席委員 11人

会 長 山 岸 博 美 委員

委 員 三 毛 明 人 委員 牧 野 ま や 委員 中 村 靖 夫 委員

委 員 斎 藤 恵 子 委員 古 莊 優 子 委員 高 橋 杏 樹 委員

委 員 大 堀 雄 紀 委員 藤 澤 弘 委員 山 田 五 月 委員

委 員 高 橋 正 恵 委員

欠席委員 4人

高 田 倫 子 委員 中 西 昌 大 委員 坂 元 雅 明 委員

桑 原 一 朗 委員

事務局職員

健康課長 伊 藤 崇

健康係長 渡 邊 知 子

健康課主任 萩 野 裕 人

吉 武 祐 亮

健康係主事 中ノ森 美 優

健康係管理栄養士 平 石 瑞 穂

計画策定支援事業者 株式会社コクドリサーチ

傍 聴 者 0人

(午後2時00分 開会)

○事務局 定刻になりましたので始めさせていただきます。

本日は、お忙しいところ御出席いただきまして、ありがとうございます。また、2月25日に本来開

催する予定ではございましたけれども、委員の出席数の関係によって延期となってしまいまして、大変御迷惑をおかけしまして申し訳ございませんでした。

本日は、委員改選後の第1回目の会議ということで、会長、副会長を選出していただくまでの間、司会を務めさせていただきます健康課長の伊藤と申します。よろしくお願いいたします。

では、着座にて進行させていただきます。

本日の委員の出席でございます。高田委員、中西委員、坂元委員、桑原委員から欠席の御連絡をいただいております。また、古荘委員は遅れて御参加と連絡をいただいているところでございます。

現在、委員定数16名中10名の出席となっておりますので、委員の半数以上が出席しておりますので、会議として成立していることを御報告いたします。

次に、資料の確認をさせていただきます。事前送付資料として、令和7年度第4回食育推進会議次第、資料1として、小金井市食育推進会議委員名簿、資料2、小金井市食育推進基本条例、資料3、第5次食育推進計画策定スケジュール、資料4、小金井市食育推進計画策定に向けたアンケート調査結果、資料5、一般市民アンケート《クロス集計結果表》、資料6、小中学生アンケート《クロス集計結果表》、資料7、現計画の指標との比較、資料8、国、東京都、小金井集計結果についてとなります。

当日配付資料として、第4次小金井市食育推進計画、あと、カラーの食育カレンダーとなっております。

過不足等ございましたら、事務局のほうにお申出いただきたいと思っております。皆さんよろしいでしょうか。

ありがとうございます。

それでは、議事に入ります。初めに、2、議事（1）委嘱状交付でございます。委嘱状の交付につきましては、誠に申し訳ございませんが、あらかじめ机の上に委嘱状を置かせていただきましたので、これを持ちまして交付とさせていただきます。

委員の任期につきましては2年となっており、令和8年2月1日から令和10年1月31日までとなっております。どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、議事（2）委員自己紹介でございます。本日は、委員改選後の初めての会議でございますので、自己紹介を兼ねて各委員から一言御挨拶いただければと思います。着席のままで結構ですので、よろしくお願いいたします。

委員名簿につきましては、資料1を御覧ください。

それでは、三毛委員から、反時計回りでお願いいたします。

○三毛委員 三毛明人と申します。私は令和6年の2月から食育推進会議の委員を仰せつかっております。

すので、これで2期目となります。引き続きよろしく願いいたします。

前回までの会議では、第5次食育推進計画を策定するためのアンケートについていろいろ審議をしてまいりまして、いよいよこれが計画に昇格していくといたしますか、という段階になるので、一連の作業が見られて非常にうれしく思っております。引き続きよろしく願いいたします。

○牧野委員 牧野まやと申します。3期目になります。ずっとこの食育委員のお仕事を続けてきて、いろいろな立場のいろいろな方の御意見を聞くことができ、とても有意義な時間を過ごしてきました。今後ともまたいろいろ学びたく、どうぞよろしく願いいたします。

○斎藤委員 斎藤恵子と申します。今回初めて食育推進会議の委員にならせていただきました。40年間ずっと病院の栄養士として勤務してきて、最後の10年間は大学病院で患者さんの治療のお役に立てるような栄養指導とか栄養管理をやってきました。食育とはちょっと程遠いことだったんですけども、食育をしっかりやって、少しでも病院に入院したりとかする患者さんが少なくなればいいなと思っています。

今は自宅で栄養ケアステーションを開設しまして、在宅の患者さんのところを回っています。やっぱり在宅では低栄養の患者さんがすごく多いので、今、WHOでは低栄養も疾患として認められるようになりましたし、子供さんだけじゃなくて、大人とか、全て市民の方の栄養に携わっていかれたらと思っております。よろしく願いいたします。

○山岸委員 山岸です。3期目になります。先ほどの委員のお話もありましたが、前回から市民のアンケートについていろいろ練って、今回このように立派な結果が出ました。そういった結果も踏まえまして、小金井市の食育がますます推進されることに尽力していきたいと思っております。よろしく願いいたします。

○中村委員 中村と申します。よろしく願いいたします。今回、食育推進会議の委員は初めて参加させていただきます。分からないことが多いかと思いますが、これに参加しまして、食育につきまして日々勉強しながら、この委員会の中で、もし発言できる場所があれば積極的に発言をさせていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

○高橋（杏）委員 小金井市社会福祉協議会の福祉総合相談窓口に所属しております高橋と申します。今回初めての参加となりまして、分からないところもあるんですけども、よろしく願いいたします。

社会福祉協議会では、子ども食堂推進連絡会の事務局をやっておりますので、子ども食堂での現状とかはお話できるかなと思います。よろしく願いいたします。

○藤澤委員 藤澤と申します。小金井市商工会から2期目でやらせていただきたいと思っております。最初は何も分からなかったんですが、少しずつ分かるようになってきましたので、今回は少し、もうちょっと

頑張っていけないといけないと思います。

以上、よろしくお願いします。

○山田委員 東京都多摩府中保健所の管理栄養士の山田です。よろしくお願いします。日頃は保健所事業への御協力、御理解、ありがとうございます。保健所の保健栄養担当では、からだ気くばりメニュー店とか、食環境整備とか、あと、栄養成分表示について事業所の皆様に普及させていただいたりしておりますので、よろしくお願いします。

○高橋（正）委員 小金井市の福祉保健部長の高橋と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○大堀委員 小金井市農業振興連合会の大堀です。前期の途中からやって、まだちょっと分からないところもありますので、微力ながら力になればと思っておりますのでよろしくお願いします。

○古荘委員 小金井市東小学校栄養教諭の古荘です。よろしくお願いします。

○事務局 ありがとうございました。

それでは、続きまして、事務局を務めさせていただきます福祉保健部健康課の職員を紹介させていただきます。

まず、健康係健康係長、渡邊でございます。

○事務局 よろしくお願いいいたします。

○事務局 健康係主任、萩野でございます。

○事務局 よろしくお願いいいたします。

○事務局 健康係主任、吉武でございます。

○事務局 よろしくお願いいいたします。

○事務局 健康係主事、中ノ森でございます。

○事務局 よろしくお願いいいたします。

○事務局 健康係管理栄養士、平石でございます。

○事務局 よろしくお願いいいたします。

○事務局 どうぞよろしくお願いいいたします。

続きまして、議事（3）会議の運営スケジュールについてを議題とします。事務局から説明させていただきます。

まず、会議の運営についてでございます。資料2を御覧ください。食育推進会議で検討、協議する事項については、この条例の第14条第2項に記載しております。食育推進計画の策定、計画の進捗状況の検証、施策の検討を推進会議にて行うこととしております。

次に、食育推進会議における会議録の作成についてでございます。まず、会議における発言内容を正

確に記録するために、全文記録とさせていただきます。なお、発言者名を正確に把握するため、会議においては、発言する際、挙手をしていただいて、会長が指名後、御自身の名前をおっしゃってから発言をするようお願いいたします。

続きまして、会議のスケジュールでございます。こちらについては、条例第14条第10項において、年4回以上開催するとしておりまして、具体的なスケジュールについては資料3を御覧ください。本年度においては、本日の会議が4回目となり、最後となります。内容としましては、アンケート調査を実施しましたので、そのアンケート調査の結果の報告となります。令和8年度については4回開催する予定で、内容としましては、次期食育推進計画の計画案の検討、確定を予定しているところでございます。

続きまして、議事（4）会長、副会長の選出でございます。会長、副会長につきましては、条例第14条第6項の規定によって、委員の互選によることとしているところでございますが、事務局からの指名推選とさせていただきたいと思っております。会長には、前回からの委員であり、前回から会長を務めていただいております学識経験者の山岸委員にお願いしたいと考えております。

また、副会長には、本日欠席ではございますが、同じく学識経験者である高田委員にお願いしたいと考えております。会長及び副会長の選出について、事務局案のとおりで、皆様、よろしいでしょうか。御異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○事務局 ありがとうございます。

では、そのように決定させていただきます。

それでは、山岸委員、会長席のほうにお移りください。

ここで進行につきましては、会長に交代させていただきます。

○山岸会長 どうぞよろしくをお願いいたします。

それでは、ここから私のほうで進行させていただきます。よろしく申し上げます。

では、次に、議事（5）食育コーディネータの選出についてです。

事務局から説明をお願いいたします。

○事務局 事務局です。食育コーディネータにつきましては、小金井市内の食に関する情報の周知広報活動を行い、関係機関との連携を促進して、小金井市の食育を推進するための連携強化を図る中心的役割を担う役職となっております。食育コーディネータが導入されたときに、個人で担うより、食育推進を長期的スパンで運営できる組織になったほうがよいという御意見をいただき、福祉保健部長が歴任しておりました。このことから、引き続き、高橋委員を食育コーディネータに考えてございます。任期につきましては、小金井市食育コーディネータ運営規則第4条で、食育コーディネータの任期は、食育推

進会議委員の任期と同様のため、令和10年1月31日までとなっております。

説明は以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。

ただいま事務局から食育コーディネータについての説明がございました。本件については、事務局の説明どおり、高橋委員を食育コーディネータとすることに御異議はございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○山岸会長 ありがとうございます。異議がないようですので、高橋委員に食育コーディネータをお願いしたいと思います。

高橋委員、どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、次に、2、議事(6)第5次小金井市食育推進計画に係る市民アンケート結果について、及び(7)第5次小金井市食育推進計画に係る小中学生アンケート結果についてを一括議題といたします。

事務局から説明をお願いいたします。

○事務局 事務局です。

それでは、資料4の小金井市食育推進計画策定に向けたアンケート調査結果を御覧ください。本日、当日配付資料として配付しております現在の食育推進計画についてですが、こちらが令和8年度までとなっていることから、令和7年度及び令和8年度の2か年度にかけて、次期食育推進計画の改定作業を行っているところでございます。今年度は、次期計画改定のための市民アンケート調査を実施しております。今年度の第1回目から第3回目までの食育推進会議において、アンケート内容を協議し、確定していただきました。そして、令和7年11月にアンケート調査を実施したところでございます。

今回の第4回の会議では、アンケート調査の結果について御報告させていただく予定としておりましたので、本日報告させていただくものでございます。

それでは、1ページ、調査概要について御覧ください。まず、このアンケート調査については、先ほども説明したとおり、市民の食に関する意識や構造の変化を把握して、次期計画策定のための基礎資料とすることを目的に実施しております。今回の調査では、一般市民及び小中学生の方を対象としております。

まず、一般市民調査についてです。市内在住の18歳以上の市民2,000人を対象に、無作為抽出により調査票を郵送いたしました。回答方法については、郵送及びウェブ回答を併用して実施しております。配布した2,000通のうち、宛先不明で返送された10件を除いた1,990件を有効配布数として集計いたしました。その結果、758人から回答いただき、回収率は38.1%となっております。

次に、小中学生調査についてです。こちらは小金井市立の小中学校それぞれ2校を抽出し、小学校4年生、中学1年生及び中学2年生の児童生徒、合わせて821人を対象に実施いたしました。結果としましては、734名から回答を得ることができ、回収率は89.4%と非常に高い割合となっております。

それでは、一般市民アンケート結果について御説明させていただきます。なお、現在の計画である第4次小金井市食育推進計画を策定する際に、令和2年度にも同様のアンケートを実施しております。本日の報告では、令和2年度に実施した調査を前回調査として、今回の調査結果と比較しながら御説明いたします。

時間に限りがございますので、全ては説明できませんので、主な項目について御説明いたします。

では初めに、7ページ、問7を御覧ください。今回新たに設定した質問です。新型コロナウイルス感染症の流行前後を比較した食生活の変化についてお聞きしております。特徴的な変化として、④番の自宅で食事をするが増えたと回答した方が17.5%、あと、⑤の飲食店で食事をするが減ったと回答した方が26.4%となっており、外食から内食への移行がうかがえます。また、⑦番、近くの店で買物をするが増えたと回答した方が17.4%となっており、地域内での消費行動が増えたということが注目されます。あわせて、③番の自炊をするが増えたと回答した方も12.3%となっており、自宅で料理する機会が増えたという変化も見られました。

次に、10ページを御覧ください。問の10-1です。食育の認知度に関する設問です。食育の言葉も意味も知っていると回答した方が66%となり、前回の51.7%から14ポイント以上大幅な増加が見られました。食育への認知度が着実に向上してきていることがうかがえます。

続きまして、14ページを御覧ください。問12-1、朝食の摂取状況を伺った設問です。朝食を「食べる」と回答された方は87.7%で、前回の74.9%から12ポイント以上の大幅な改善が見られました。

続きまして、19ページ、問15を御覧ください。こちらは、野菜の摂取状況について尋ねた設問となっております。1日に野菜を「小鉢2皿程度(140g程度)」を食べているという回答が最も多く、30.3%でした。一方、成人の摂取目標とされる「小鉢5皿程度(350g程度)」との回答は4.1%にとどまっていることから、より野菜摂取に対する意識の向上が必要になっていることがうかがえます。

あわせて、同じページの問16-1を御覧ください。小金井市内で採れた野菜を買うことがあるかという、いわゆる地産地消について尋ねた設問です。小金井市内で採れた野菜を「いつも買う」、「時々買う」を合わせますと32.3%となっており、前回の25.1%から7ポイント以上増加しており、地産地消への関心意識が高まっていることがうかがえます。

続きまして、22ページ、問17を御覧ください。こちらは、食品ロスへの意識を伺うため、今回、新たに設定した質問となります。食品ロス削減につながる行動について、「買い物をする時に必要な量だけ購入する」など具体的な取組について高い回答が得られました。一方、フードドライブ等の食品の無料配布については、寄附しているとの回答が3.0%にとどまり、すいません、23ページの間18も併せて御覧ください。23ページの間18においては、フードドライブについての設問ですが、フードドライブの「取組を知らない」と答えた方が4割を超えているため、フードドライブの活動の周知が必要になっていると考えられます。

最後に、少し飛びまして、35ページ、問30を御覧ください。食と健康に関する知識を何から得ているかについての設問です。「インターネット・SNS」が大幅に増加し、前回調査で多く回答を得ていた「テレビ番組」、「雑誌・料理本」を逆転しておりまして、最も多くなっており、この5年間での変化があらわれております。

以上で、一般市民アンケートについて御説明いたしました。この5年間で、食育への認知度の向上や、朝食習慣の改善、地産地消への関心が高まり、そして、食品ロスへの意識の高まりなど、市民の食に対する意識が向上してきていることが確認できました。

一般市民アンケートの結果は以上となります。

続きまして、小中学生アンケート結果について、こちらも主な項目を御説明いたします。引き続き、資料4を御覧ください。

まず、38ページ、問3(1)を御覧ください。朝食摂取の状況について尋ねた設問です。「ほとんど毎日食べる」と回答したお子さんが88%となり、前回の90.6%からは僅かに減少しているものの、依然として高い水準を維持しているということです。

次に、41ページ、問6と問7を御覧ください。家族と一緒に食事をする状況、共食に関する設問でございます。まず、問6の朝食については、「家族といっしょに食べることが多い」が44.7%で、前回の48.1%から3.4ポイント減少しております。問7の夕食につきましても、「家族といっしょに食べるが多い」が72.9%となり、前回の78.6%から5.7ポイント減少という結果になりました。朝食、夕食とともに、家族との共食の機会をどう確保していくのか、今後の課題の一つと認識しております。

続きまして、43ページ、問11(1)を御覧ください。食事の栄養バランスについて尋ねた設問ですが、平日に主食、主菜、副菜のそろった食事を3回取っている子供は41.3%で、前回の39.5%から若干の改善が見られました。

続いて、44ページの間11(2)を御覧ください。こちらでは、給食のない日の状況についての結

果を記載してございます。給食のない日では1回のみにとどまるお子さんが22.2%となっており、給食という栄養バランスの整った食事が果たしている役割の大きさが改めて確認できる結果となっております。

最後に、48ページ、問17を御覧ください。給食の状況についてです。給食を「いつも残さず食べる」という回答は52.3%で、前回の62.1%から約10ポイント減少しております。「だいたい残さず食べる」を含めると、87.3%となり、大多数の子供が給食を残さず食べてはおりますが、完食率がやや低下している状況が見られます。

小中学生アンケート調査結果からは、朝食習慣、栄養バランスへの意識の維持といった前向きな面も見られる一方で、家族との共食機会の減少や給食の完食率の低下といった新たな課題も浮かび上がってきたところでございます。

次期計画におきましては、こうした変化を踏まえながら、子供たちの健やかな成長を支える食育施策を検討していきたいと考えております。

以上で、市民アンケート、小中学生アンケートに関する報告を終わります。

続きまして、資料5、一般市民調査クロス集計結果と、資料6、小中学生調査クロス集計結果につきましては、調査結果が大分細かいところになるので今回説明は省略させていただきます。参考資料として配付させていただきますので、後ほど御覧いただければと思います。

ただ、今後クロス集計結果を詳細に精査いたしまして、計画策定に反映してまいります。

では、続けます。

資料7を御覧ください。今回のアンケート調査結果と、現計画の指標との比較についてでございます。現計画において、7つ指標を設定しております。

まず、1つ目の指標です。「食育という言葉や意味を知っている」。指標は70%としておりますが、今回の調査結果では66%、前回の調査結果は51.7%、前回からは増加しているところですが、目標の数値、指標には届いておらず未達成となっております。

2番、「毎日きちんと朝食を食べる」。今回の調査結果は87.7%、前回は74.9%、前回からは増加しておりますが、指標には届いておらず未達成ということです。

「家族と一緒に食事をする」。こちら、今回の調査結果では、小学生については若干増加しておりますが、中学生については、前回調査から変わらない、維持されている状況が見取れます。3番、「家族と一緒に食事をする」は、家族との共食機会は減少していることがうかがえます。目標、指標は未達成となっております。

4番、「バランスのとれた食事をする」。小学生については、前回調査から今回調査では若干増加し

ております。中学生につきましては、前回調査から変わらず維持されている状況です。4番の指標のところに、「改善意欲のある市民60%」と書いてありますが、改善意欲がある市民については減少していますが、備考欄にあるとおり、そもそも今回の調査では58.6%の方が既にできていると回答している状況です。そのため、できていない約4割のうちの35.1%の方が改善意欲ありのため、できていない方の多数は改善意欲があることがうかがえる状況です。

次、5番です。「野菜は一日350g摂取を目標とする」。こちらについては、指標から大きく乖離している状況です。前回調査では、この設問はありませんので、前回の調査との比較はしておりません。目標は未達成となっております。

6番、「食生活に地産地消を取り入れる」。こちらは前回調査からは増加しておりますが、指標は達成できておりません。

7、「食品ロスの軽減」です。こちらも前回調査結果からは増加しておりますが、指標には届いておらず未達成となっております。全体的に前回調査からは増加傾向ではございますが、指標について未達成でありますので、引き続き取組を推進する必要があるという状況でございます。

続きまして、資料8を御覧ください。今回の調査結果と、国、東京都との比較についてです。

まず、一番上の四角の食育の認知度です。こちらは国と東京都より高い66%となっております。

次に、朝食を食べるかについてでございます。こちらは国よりは若干低いものの、東京都より若干高いというような状況でございます。

家族との食事について（朝食）です。「ほとんど毎日」と「週に4～5日」を合わせますと、小金井市では46.5%となっており、国が49.9%になっていることから、先ほどと同様に、国よりは低いけれども、東京都よりは高いような状況です。

2ページ目に行きまして、家族との食事について（夕食）です。こちらも「ほとんど毎日」、「週に4～5日」について、小金井市は合計すると66%、国が73.8%ということで、朝食と同様に、国よりは低いですが、東京都よりは高いような状況でございます。

駆け足での説明となってしまいましたが、市民アンケート結果と小中学生アンケート結果の説明については以上となります。

○山岸会長 ありがとうございます。資料がたくさんありましたけれども、ただいまの事務局の説明で御質問等ありますでしょうか。

初めて御参加の方はアンケートの量もとても多くて理解が難しかったとか、こういうようなところはどうだったんだというような御質問でも大丈夫ですので。

では、中村委員、よろしくお願いいいたします。

○中村委員 中村です。小中のアンケートをされたということなんですけれども、これ、回収数は非常に良好だということで報告を受けたんですけども、これの実際のやり方はどういうふうに行っているのかというのは、具体的には、子供にストレートに回答をいただいたのか、家庭に持って帰って親子で回答したのかというところは、こういった形でアンケートを取られたんでしょうか。それをちょっと伺いたいです。

○事務局 健康課長です。先ほど言ったとおり、小中学校2校ずつ、それぞれに学校で配布していただいて、学校で子供たちに記入していただいて回収しているような状況でございます。

○中村委員 分かりました。ということは、親御さんの回答ではないという理解でよろしいですかね。

○事務局 そうですね。子供がアンケートに直接回答しているという状況です。

○中村委員 ありがとうございます。

○山岸会長 ほかによろしいでしょうか。

では、次に進みたいと思います。

それでは、次に、2、議事（8）小金井市食育ホームページについてです。

三毛委員、よろしくお願いいたします。

○三毛委員 この会議での食育ホームページの御報告はもう半年ぶりになってしまうので、随分間が空いてしまったんですが、その間、小金井市の食育ホームページを御覧になっていただいている方は御承知かと思えますけれども、現在新しいコンテンツの更新は、小金井市の野菜を使ったレシピを毎月更新するということになっておりまして、なかなか新しいコンテンツを手がける余裕といえますか、知識とかそういったものもないので、ぜひここにお集まりの皆さんからは何かアイデアがあれば出していただいで、できれば私たちと一緒にホームページをつくっていただけるとありがたいと思っている次第です。

せっかくなので、今、お手元にある2026年の小金井市食育カレンダーでございますけれども、このカレンダー、毎月お勧めレシピというのを載せていただいているんですが、このお勧めレシピが小金井市食育ホームページの毎月更新されるレシピから載せております。年度のまたがりの関係で、今回2026年のカレンダーに載せているレシピは2024年の11月から2025年の10月までのレシピがここに載っております。

先ほど野菜の摂取量という話がありましたけれども、こちらのレシピには、カレンダーにはちょっと出ていませんけれども、ホームページのほうには、このメニューをつくと1人分の野菜摂取量が何グラムになるよということも書いてあります。私どもホームページの委員としては、できるだけ野菜の摂取が上がるようなレシピをつくるようにしておりますので、場合によっては食べると1日の野菜摂取量

の半分ぐらいが賄えるようなレシピもありますので、その辺もぜひ参考にしていただいて、また小金井市の健康に役立っていければなと思っております。

食育ホームページのほうから報告は以上でございます。

○山岸会長 ありがとうございます。QRコードから読み込めるようにもなっておりますので、ぜひ御覧くださればと思います。

今の三毛委員の報告について、質問等ある方はいらっしゃいますでしょうか。

では、ないようでしたら、ほかにお知らせや報告のある方はいらっしゃいますでしょうか。よろしいでしょうか。

では、続きまして、次第3、その他ですが、委員の皆様や事務局から何かございますか。

○事務局 事務局からいいですか。

○山岸会長 お願いします。

○事務局 すみません、皆さん、資料3を見ていただきたいんですけども、令和7年度の会議は、第4回、本日で終了となりまして、アンケート結果の報告ということです。令和8年度につきましては、このアンケート結果を基に計画案を策定していくこととなりますので、皆さんに計画案を検討、協議していただいて、確定させていただきたいと考えてございます。

第1回目の推進会議の予定は6月中旬頃を予定しておりますので、開催通知については、5月中旬頃に発送させていただきますので、日程と場所、日時等確定しましたらお知らせを発送したいと思いますので、御参加のほどよろしくお願いたします。

事務局からは以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。次回は6月中旬頃ということで、また御案内をさせていただくので、ほかよろしいでしょうか。

それでは、以上をもちまして、令和7年度第4回小金井市食育推進会議を終了いたします。

皆様、本日はありがとうございました。

— 了 —